

# 第13回 三水会クラブ

## 犬好き集まれ!フォスター編

今回10月の三水会クラブの講師として犬のフォスター(犬の一時預かり)に関してのお話をさせていただきました。当日、人が集まるか心配でしたが、予想以上に多くの犬好きの方々に参加して頂きました。熱心にヒューストンの捨て犬状況やフォスターに関する話を聞いてくださり、皆様の意識の高さに心を打たれました。

講義中には、犬のしつけトレーナーの川原志津香さんにもお力添えをいただき、犬の基本しつけ方、シェルターに入った犬たちの触れ方などアドバイス頂き有意義な時間になりました。講演会の後も懇談会のような形で犬のフォスターや犬の飼い方などに関して皆さまと交流ができ、既にフォスターをしてくださっているボランティアの方々とはじめて対面できたことも、本当にうれしく思いました。

このような機会を与えてくださった商工会事務局の皆様には心から感謝申し上げます。ヒューストンでは100万頭を超える捨て犬がいるという事実はあまり知られていません。特にコロナ後は自己都合で犬を捨てる人が増え、シェルターも一杯で安楽死をさせるしか方法がないという悲しい現状です。このような人間の身勝手に捨てられた犬たちを救い、彼らが第二、第三の人生(犬生?)を幸せに生きる為に、フォスター(一時預かり)はとても大切な役割なのです。

私一人では救える命は限られていますが、皆で協力すれば多くの命を救うことができます。フォスターに協力して下さる日本人ボランティアの皆様のおかげで、今まで400頭以上の命を救っています。今後もこの活動を通して多くのフォスターボランティアの方と交流、そして犬のフォスター救助を続けてまいりますので、ご興味がある方はお気軽に[メール](#)にてご連絡ください。

講師: 石井 英理子 (Home Experience Realty Group 不動産ブローカーアソシエーツ、犬レスキュー&フォスターボランティア)



## ラッピング

「贈り物」には、贈る側の気持ち、そして受け取る側の気持ちが交差する瞬間があります。その最初のステップが受け取る側が目にする包装、ラッピングになります。それは贈り物の付加価値となり、その美しい包装紙やリボンでさえも思い出の記憶の一つとなるのです。日本の包装文化というものは、贈り手、受け手、双方の気持ちを言葉ではなくその技術で表現します。冠婚葬祭によって使い分ける掛け紙の向き、箱の方向、のしの種類から掛け方、水引等、本当に様々な心配りがそこにはあるのです。そんな文化的にも技術的にも高い包装というものを、当たり前のように提供を受ける事ができるのは、世界でも日本だけではないでしょうか。海外でプレゼントを購入し、ラッピングをお願いしても、満足いく仕上がりにならなかった事がある方もいらっしゃるのではないのでしょうか。私がこの資格を取得しようと思ったのも、そんな事がきっかけでした。



先日は沢山の方々に講座にご参加頂き、本当に有難うございました。講座のお話を頂戴して、ヒューストンでいくつかメジャーなクラフトショップをご紹介頂きました。中でもHobby LobbyやMichaels、Joannでは様々なパリエーションのラッピンググッズを選ぶ事ができ、その商品の豊富さには驚かされました。特にリボンの種類には圧倒され、日本では手に入らないような価格で購入する事ができました。

講習では、薄紙の活用法から、カッターナイフの使い方、リボンや封筒の作り方、そして箱のラッピングまで、時間に限りがある中で様々な事に挑戦して頂きました。以前海外の企業研修を行った際には、紙を合わせて折るという感覚や経験がない方にラッピングをお教えするのに、難しさを感じた事もありましたが今回はさすが日本人で、小さな頃から折り紙の経験等から、物を綺麗に折るという技術を、皆様自然と身に付けられていると改めて感じさせられました。

後日、講習を受けて頂いた方から、ご友人への贈り物を包まれた写真をお送り頂きました。学んで頂いた技術を活かして、更に日本風にアレンジも加えられ、とても素敵に包んでいらっしゃいました。この様に、皆様の日常にちょっとした喜びが加わり、お役に立てて本当に嬉しく思います。

この度はこの様な貴重な機会を頂きました三水会の皆様、そしてご参加頂きました皆様、本当に有難うございました。

講師: 秋間 智子 (日本ラッピング協会認定講師)



三水会クラブ 次回予定:

- ★日時: 2月15日(木) 10時~12時
- ★テーマ: カイロプラクティク